

## 関西大学総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

### 2025 年度 自己点検・評価報告書

【実施：関西大学総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム運営委員会】

#### 1. 自己点検・評価の実施

「関西大学総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」について 2022 年度より、応用基礎レベルとして実施している。2025 年度は本プログラムの 4 年度目である。

総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム委員会は、2025 年度の履修状況を参考に、授業運営上の工夫などについて意見交換を行い、自己点検・評価を実施した。

2. 2025 年度修了者数 484 名

#### 3. 評価の基準について

下記の 3 段階で評価する。

A: 取り組みの内容に特筆すべき点があり、十分に実施できている

B: 問題なく運営されている

C: 取り組みの内容について改善の必要がみとめられる

#### 4. 自己点検・評価の結果について

今年度の履修状況などを確認し、委員による意見交換の結果、下記の評価に至った。

【評価結果】 A: 取り組みの内容に特筆すべき点があり、十分に実施できている

本プログラムは、以下の科目群で構成される。

・情報と倫理

・情報処理

・コンピュータの言語

- ・ コンピュータネットワークの基礎
- ・ データサイエンスの基礎
- ・ 情報システムの基礎
- ・ ソフトウェア実習

本プログラムの修了は、上記全科目の単位取得が要件となる。また、上記の全科目群は 2022 年度以降に入学した総合情報学部生の必修科目、すなわち卒業要件となる科目となっている。そのため彼らが卒業する際は、プログラムを修了していることとなっている。2021 年度以前の入学生も上記科目を全て修得することでプログラムの修了が可能である。

次表に履修者数と合格率について記す。

	履修者数	単位取得者数	単位取得率
情報と倫理	679	528	78%
情報処理	575	532	93%
コンピュータの言語	638	451	71%
コンピュータネットワークの基礎	615	510	83%
データサイエンスの基礎	539	511	95%
情報システムの基礎	577	423	73%
ソフトウェア実習	566	518	92%

全ての科目で入学定員である 500 名を超える履修者がいる。また、単位取得率が 71%から 95%で分布しており、必修科目とはいえ単位取得・本プログラムの修了が容易でないことが明らかとなっている。「コンピュータの言語」において例年より低い単位取得率となったため、授業担当者が授業内容と評価基準についての確認を行った。なお、各科目の単位認定に際しては、本プログラムにおける教育の質を担保するために明確な評価基準を維持することを求めている。

急速に普及しつつある生成 AI の利用においては、その仕組みと倫理的側面の十分な理解が求められる。2023 年度より「情報と倫理」、および「データサイエンスの基礎」において、深層学習のニューラルネットワーク構造の講義、及び生成 AI の利用課題、利用にあたっての問題点を講義内容に追加している。

## 5. 改善・進化に向けた対応について

本プログラムを構成する各科目の授業内容の見直しは、教務委員会、C導入教育連絡会議およびソフトウェア実習担当者会議を通じて毎年行われている。これにより、教育内容の硬直化を防ぐとともに、移り変わりの激しい情報技術をプログラムに適切に取り込むための努力が払われている。2025年度の入学者からは新しい高等学校学習指導要領に基づいた「情報Ⅰ」を学習している。このため、各科目において、高校における指導要領の変化を踏まえた授業内容変更をC導入教育連絡会議とソフトウェア実習担当者会議において検討した。

検討の結果、2025年度からは本プログラム認定前から運用していた学部独自プログラム（「データサイエンス教育プログラム（基礎/応用）」）を、「データサイエンス教育プログラム（応用展開レベル）」に再編して運用している。応用基礎レベルを学んだ学生がより高度で専門的なデータサイエンス教育を受けられる仕組みを整えている。